

学習例 「性の多様性を尊重しよう～LGBTQ から SOGI へ～」（対象：高校生）

ねらい

- ・ 身近な人たちの中で、生きづらさを感じている人がいるかもしれないという視点をもち、性的マイノリティについて理解を深める。

学習指導要領との関連（例）

- 高等学校 公共A 倫理A 特別活動「ホームルーム活動」（2）

進め方

流れ	内容
導入 (5分)	<p>（人間の性のあり方は男性か女性のどちらかである。○か×か。）</p> <ul style="list-style-type: none">・人間の性はどのくらい多様だと思うか（性の多様性とは何か）。
展開 (35分)	<p>【ワーク1】</p> <ul style="list-style-type: none">・「性の構成要素」の表を見て、4つの性の組み合わせについて考える。 自分の組み合わせについて考えさせても良い（書かない・発表させない）。 <p>【ワーク2】</p> <ul style="list-style-type: none">・SOGIについて調べ、LGBTQとの違いを確認する。 <p>【ワーク3】</p> <ul style="list-style-type: none">・「性別二元論の例」や「異性愛が前提になっているもの」を探す。 性別二元論の例…トイレ・更衣室・制服 等 異性愛が前提になっている例：結婚制度、「好きな男子（女子）いる？」と聞くこと等 <p>【ワーク4】</p> <ul style="list-style-type: none">・どのようなセクシュアリティの人も安心して生活できる環境や社会をつくるために必要なことは何か。学校では、どんな工夫ができるか考える。
まとめ (10分)	<p>【ワーク5】</p> <ul style="list-style-type: none">・気づいたことや考えたことを書く。

留意点

- ・「静岡県人権教育の手引き」、「SOGIの多様性に関する理解と尊重を目指して」（内閣府）を活用する。
- ・当事者がいるという前提で授業を実施する。
- ・発表の際は、どんな発言でも否定せずに認め合うことが大切であることを指導する。

特別支援学校での取組方法

- ・生徒の理解を確認し、【ワーク2】【ワーク3】の時間配分や用語の取扱方を決める。
- ・【ワーク4】については、みんなで考えやすくするために、具体的な挿絵付の事例をつくるなど、生徒の実態に応じた教材を工夫する。
- ・目標や内容を事前に保護者に知らせ、事後には表れを保護者と共有することも有効である。

ワークシート「性の多様性を尊重しよう」

氏名

1 性の構成要素について知ろう。

①からだの性 (Sex)	男	○	○	○	○	女
②こころの性 (Gender Identity)	男	○	○	○	○	女
③好きになる性 (Sexual Orientation)	男	○	○	○	○	女
④表現する性 (Gender Expression)	男	○	○	○	○	女

※この枠組みにあてはまらない人もいる

2 SOGIについて調べてみよう。

SOGI とは

・SOGI と LGBTQ との違いを確認しよう。

SO (Sexual Orientation) に関する言葉	L	レズビアン	同性に惹かれる女性
	G	ゲイ	同性に惹かれる男性
	B	バイセクシュアル	両性に惹かれる人
	A	アセクシュアル	どのような性別にも惹かれない人
		ヘテロセクシュアル	異性に惹かれる人
GI (Gender Identity) に関する言葉	T	トランスジェンダー	出生時に判断された性別とジェンダー・アイデンティティーが一致しない人
		シスジェンダー	出生時に判断された性別とジェンダー・アイデンティティーが一致している人
SOGI 両方	Q	クエスチョニング	性のあり方が定まっていない人 又は定めていない人

参考 (内閣府パンフレット)

3 「性別二元論の例」や「異性愛が前提になっているもの」を探してみよう。

性別二元論の例

異性愛が前提になっているもの

4 どんなセクシュアリティの人も安心して生活できる環境や社会をつくるために必要なことは何か。学校ではどんな工夫ができるか考えよう。

例：服装・髪型・トイレ・体育等の授業・部活動・名前の呼び方…

5 気づいたことや考えたことを書こう。